

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

卒業研究抄録集(看護学科)(2022.12)令和4年度:

,

子育て中の農業従事者女性における生活と健康観

学生氏名 小西華代 和嶋寧音
(指導：藤井智子 水口和香子)

緒言

農業従事者女性は、戦後まもなくから家事、育児、介護により過重労働であり¹⁾、家事を含む労働時間が家庭内で最も長く、睡眠時間は最も短い²⁾ことが明らかになっている。農業従事者に占める女性の割合は年々増加し平成29年には約半数であり、女性は実質的に農業経営を担う大きな力となっている³⁾。農業従事者女性は男性よりも多くのストレスを抱えており、気候の変動や不安定な収入は精神的健康に影響を及ぼしている⁴⁾。また、ストレス発散の一つである飲酒や喫煙の割合についても高くなっている⁵⁾⁶⁾⁷⁾。保健師が捉える農業を含む第一次産業従事者の健康においては、仕事を優先させる価値観が明らかになっている⁸⁾。このことから、健康に関する行動の優先度が下がり、病気の早期発見や早期予防が困難になることが予測される。しかし、子育て中の農業従事者女性や、当事者の視点から健康について述べられた研究は限られている。そこで、本研究では子育て中の農業従事者女性の生活と健康観を明らかにすることを目的とし、生活と健康観を大切にした支援を考える一助とする。

方法

研究対象: A市農業地域在住の子育てをしている農業従事者女性2名。

調査方法: 令和4年7月末に研究者2名で対象者の自宅及び支所を訪問し、半構造化面接を実施した。対象者の了解を得てインタビューを録音した。

調査内容:

1. 対象者の基本属性: 年齢、家族構成、既往歴、夏季の労働時間、起床・就寝時間/冬季の労働時間、起床・就寝時間、仕事内容
2. インタビュー内容: ①農業という仕事で大変なこと、楽しいこと、誇り、やりがい、②家族や自身の健康のために意識していること・大切に思っていること等とした。
3. 分析方法: 録音した内容から逐語録を作成し、子育て中の農業従事者女性の健康に関わる発言をコード化し、意味内容の類似性をもとにサブカテゴリ・カテゴリを生成した。

用語の定義: 健康: 病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。

倫理的配慮: 対象者へ研究への趣旨及び本調査への参加は自由であり、調査の拒否・中断が可能であること、拒否・中断による不利益はないこと、プライバシーの保護を保障することを文章並びに口頭にて説明した。また、旭川医科大学倫理委員会の承認を得て行った。(承認番号: 22021)

結果

1. 対象者の属性 (表1)

対象はA市農業地域在住の子育て中の女性2名であった。各1回ずつの面接を行い、平均面接時間は45分であった。

2. 子育て中の農家女性の生活と健康観 (表2)

分析の結果、214のコード、26のサブカテゴリ、9のカテゴリが抽出された。以下カテゴリを【 】, サブカテゴリを[]で示す。

子育て中の農業従事者女性は、【収穫に没頭できる楽しさ】という思いを持っており、【季節や気候に合わせた働き方】をしている。【農繁期は仕事を優先した生活】であるため、【家庭内の役割を家族で相談して決定】している。また、【仕事が忙しい中でも子供のことを優先して生活】。【仕事の合間で自分の時間を確保】、【農作物を介した交流にやりがい】という思いを持っている。このような生活を送るために、子育て中の農業従事者女性は【家族の健康に気配り】、【働くための体への大切な思い】がある(表2)。

表1: 対象者の属性

対象者	年齢	家族構成	面接時間	仕事内容	仕事時間
Aさん	30代	4世代同居 子ども2人(幼児)	40分	稲作	夏季:5時間 冬季:0時間
Bさん	40代	核家族 子ども3人(社会人(別居)大学生(別居)小学生(同居))	50分	畑作	夏季:10時間 冬季:3時間

考察

1. 農業従事者女性の生活

子育て中の農業従事者女性は【収穫に没頭できる楽しさ】という思いを持ちながら農業に取り組んでいることが明らかになった。一方で、【暑い時期の仕事や働く時間が長いことが苦痛】といった自然を相手にするからこそその辛さもある。[朝早く気候に合わせた働き方をしている]というように、【季節や気候に合わせた働き方】をしていることで日々の平穏を保ち、安寧な状態としての健康を成り立たせていると考える。

[作業効率を優先し休憩時間が短くなっている]、[夏季の農繁期にはなかなか健康維持のための自分の時間を取ることが出来ない]といった、【農繁期は仕事を優先した生活】である。十分な休息の確保や健康への配慮が難しい中でも、【家庭内の役割を家族で相談して決定】しており家族で役割分担しながら工夫して生活している。[農作業は忙しいため夫婦の中でも分担して行っている]ように、農業においても役割を決めており、母親には[家庭内で料理や買い物・子供の世話などの役割がある]、[子供は女性陣がみている]という主な役割があるものの[夫や実母など家族が子育てや家事を手伝ってくれる]ように家族内で支え合って仕事や生活をしている。そのような生活の中でも、[子供のために仕事を頑張ってきた]、[子供が楽しめることを考えている]といった【仕事が忙しい中でも子供のことを優先して生活】している。一方、[仕事の忙しさで子供が出かけたりできないことがストレスになる]という思いがあり、仕事と子育ての両立に葛藤を抱えていると考えられる。

[高齢の農家同士の交流はあるが若い世代の交流は少ない]、収穫した農作物を[自宅前でも販売しており近所の友人が買いに来てくれる]、[SNSを使

って生産した野菜を通じて関係性が広がりやりがいがある]、[働く仲間同士やお客さんからの声が仕事の励みになる]といった農業ならではの【農作物を介した交流にやりがい】があった。子育て中の女性のストレス解消法として、上位に「友人との直接の交流」「配偶者との会話」などがある⁹⁾ことから、収穫した農作物の販売を通して友人と直接交流することや、SNSを利用して関係性を広げることはストレス解消にもなっている可能性がある。また、[夏でも時間を見つけて外出したり好きな動画を見ている][冬季に友人に会ったり趣味に充てる時間をとることが出来ている][冬の期間は勉強会やセミナーに参加している]ことから、【仕事の合間で自分の時間を確保】している。季節に関わらず、自分の時間をつくる事が出来ていることから、多忙の中でも気分転換をしながら自分らしく暮らしているといえる。

2. 農業従事者女性の健康観

[家族のことを考え食事を工夫して準備している]ことから、【家族の健康に気配り】をしている。これは、母親として家族が健康に生活してほしいという気持ちがあるためだと考えられる。[自宅で収穫した野菜が家庭の食卓に豊富に並ぶ][家族に水分補給するよう声をかけている]は、畑で野菜を栽培している、長時間炎天下での作業など農家特有の生活による健康管理だといえる。また、健康観として【働くために体へ大切な思い】があり、[農作業が忙しくても規則正しく朝ごはんをとることができている]。先行研究では、自らの体が作業の道具となるため体を資本とした食べ方を持っている⁸⁾とされており、仕事をし続けるために体を大切にしていると考えられる。対象者は子育て中の女性であり、子供のために健康でいたいという思いも健康観へ影響していると考えられる。一方で[運動したいと考えているが周囲(近隣)の目が気になりできていない]という周囲の農家との繋がりがあからこその悩みがあると推察される。

3. 生活や健康観を大切にしたい支援

農業従事者女性個人を対象としながらも、同居家族や農家の生活や健康観を理解し、尊重した支援を行うことが必要だと考える。

結論

- 1) 子育て中の農業従事者女性は季節や気候に合わせた働き方をしており、農繁期は仕事を優先した生活を送りつつも、その中でも子供を優先し家族の健康に気を配っているという生活を送っている。
- 2) 農作物を介した他の農家との交流にやりがいを感じており、農繁期でも自分の時間を見つけて、趣味や気分転換をしている生活を送っている。
- 3) 働くために自分や家族の体を大切にしつつ、農村地域であることで周囲の目を気にして運動できないという悩みを抱えている。
- 4) 対象者を個人として捉えるだけではなく家族として捉え、農業の生活や健康観を理解した上で支援していくことが大切である。

研究の限界

本研究は対象者が2名であったため、対象を増やし検討していく必要がある。

謝辞

本研究の実施にあたり、お忙しい中快くご協

力いただいた住民の方々と保健師の皆様に心から感謝申し上げます。

表2: 子育て中の農業従事者女性の生活と健康

カテゴリ(9)	サブカテゴリ(26)
収穫に没頭できる楽しさ(1)	農業は収穫の時期が楽しく仕事に没頭し悩みなく打ち込めることができる
季節や気候に合わせた働き方(3)	暑い時期の仕事や働く時間が長いことが苦痛 農家の家族は朝早く気候に合わせた働き方をしている 夏は農作業の仕事量が多いが冬は比較的工作量が少ない
農繁期は仕事を優先した生活(3)	作業効率を優先し、休憩時間が短くなっている 夏季の農繁期にはなかなか健康維持のために自分の時間を取ることができない 農作業が忙しいため子供を預けている
家庭内の役割を家族で相談して決定(4)	農作業は忙しいため夫婦の中でも分担して行っている 家庭内で料理や買い物・子供の世話などの役割がある 子供は女性陣が見ている 夫や実母など家族が子育てや家事を手伝ってくれている
仕事が忙しい中でも子供のことを優先して生活(3)	子供のために仕事を頑張ってきた 子供が楽しめることを考えている 仕事の忙しさで子供が出かけたりできないことがストレスになる
農作物を介した交流にやりがい(4)	高齢の農家同士の交流はあるが、若い世代の交流は少ない 自宅前でも販売しており近所の友人が買いに来てくれる SNSを使って生産した野菜を通じて関係性が広がりやりがいがある 働く仲間同士やお客さんからの声は仕事の励みになる
仕事の合間で自分の時間を確保(3)	夏でも時間を見つけて外出したり好きな動画を見ている 冬季に友人に会ったり趣味に充てる時間をとることができている 冬の期間は勉強会やセミナーに参加している
家族の健康に気配り(3)	家族のことを考え食事を工夫して準備している 自宅で収穫した野菜が家庭の食卓に豊富に並ぶ 家族に水分補給するよう声をかけている
働くための体への大切な思い(2)	農作業が忙しくても規則正しく朝ごはんをとることができている 運動をしたいと考えているが周囲(近隣)の目が気になりできていない

引用文献

- 1) 農林水産省 (2019) : 特集 2 輝きを増す女性農業者, https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/rl/rl_h/trend/pa_rtl/pdf/c0_2_01.pdf 21.
- 2) 秋津元輝 (2012) : 戦後日本農業の変転とジェンダー - 「60年代嫁世代」の経験を中心にして -, ジェンダー史学, 8 (0), 5-20.
- 3) 姉齒暁, 溝手芳計, 番場博之 (2018) : 戦後過程と農家女性の地位, 駒澤大学経済学論集, 49 (3, 4) : 1-43
- 4) Berry H.L., Hogan A., Ng S.P., et al. (2011): Farmer Health and Adaptive Capacity in the Face of Climate Change and Variability. Part 1, International Journal of Environmental Research and Public Health, 8, 4039-4054
- 5) 齋藤雄司, 樫村修生, 野田恒行, 他 (2019) : ハウス農業従事者における熱中症既往と生活習慣の関連, スポーツ科学誌, 6(1) : 93-104
- 6) 厚生労働省 (2018) : 令和元年国民健康・栄養調査結果の概要, 000687163.pdf (mhlw.go.jp), 2021-9-27 閲覧
- 7) 丸山雄一郎, 篠原正典, 高野美恵子, 他 (2013) : 長野県民を対象とした集団健康スクリーニング受診者の喫煙率の推移-農業従事者と非農業従事者の喫煙状況の比較-, 禁煙科学, 7(5) : 26
- 8) 小澤涼子, 吉田礼維子 (2016) : 保健師が捉える第一次産業従事者にとっての健康-積雪寒冷地の自治体保健師へのインタビューから-, 日本看護科学学会学術集会講演集, 36回 : 400
- 9) 中岡泰子, 小川佳代, 富田喜代子, 他 (2013) : A県における子育て支援ニーズに関する調査研究(その1)-子育ての悩みやストレス解消法の地域比較-, 四国大学紀要, (A) 40 : 1-12